

6. 月と太陽

〔月の見え方と時刻と方位〕

ねらい

三日月、半月、満月の見かけの動きと時刻・方位を理解させる。

ここがポイント

身近な材料を使って製作した簡単な教具を用いて、太陽と月の位置関係、見かけの動きと時刻・方位を三日月、半月、満月の三通りで説明する。

〔材料〕

- ・棒 2本
- ・蝶ネジ、蝶ナット 各1
- ・厚紙
- ・鉄（ステンレス）板
- ・マグネット 8個
- ・ドリル・金切りばさみ・両面テープ・コンパス・定規・マジック（赤、オレンジ）



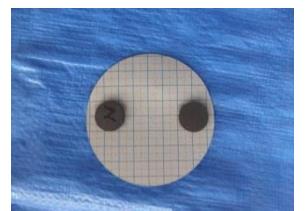
〔作り方〕① 太陽、月（三日月、半月、満月）を厚紙で作り色を塗る。



② ①をラミネートする。

③ ②の裏にマグネットを各2個両面テープで貼り付ける。

※ 三日月、半月の向きを確認する。



④ 棒の端から約15cmの位置にドリルで穴をあけ、
2本の棒を蝶ネジで止める。



⑤ ④の逆の端に鉄（ステンレス）板を両面テープで貼り付ける。

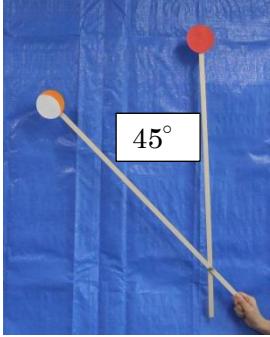
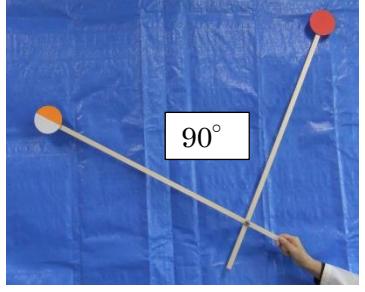
⑥ ⑤に③の太陽と月をマグネットで固定し、三日月、半月、満月の
時の月と太陽の角度を変える。



⑦ 段ボール箱を切り開いて東、南、西方向の景色を描き、ついたてとして
利用する。

〔使用方法〕

- ① 太陽と月の角度を三日月、半月、満月で下の表のように設定する。

月	三日月	半月（上弦の月）	満月
太陽との角度	約45度	約90度	約180度
モデル			

- ② 教師が景色の後方に立ち、児童の方を見ながら東から西に向かって教具を回しながら、三日月、半月、満月の時の月と太陽の動きを説明していく。

- ③ 太陽の位置によって、およそその時刻を把握する。

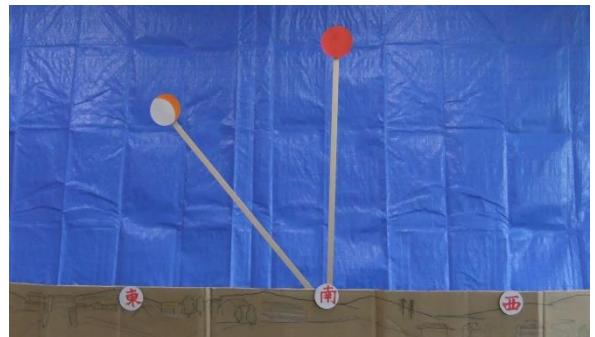
「日の出の時刻（6時ごろ）」「太陽が南中の時刻（12時ごろ）」「日の入りの時刻（18時ごろ）」

『三日月』の場合

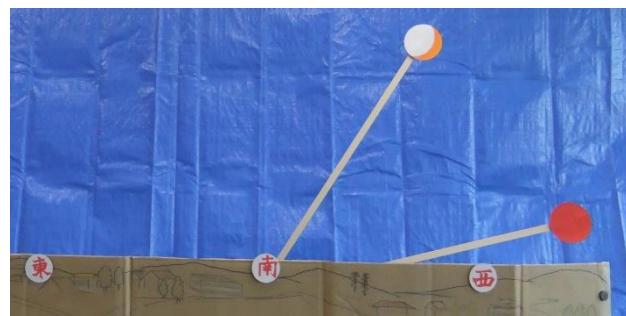
午前中（太陽が東側にある時刻）に東から昇る



正午に東の空に見える



日の入りの時に西の空に見える



『上弦の月』の場合

正午に東から昇ってくる



日の入りの時に南の空高くに見える



『満月』の場合

日の入りの時に東から昇ってきて南の空を通り、日の出の時に西へ沈む。



※ 実際の方位と同じように、南を背にして説明すると児童が正しい方位の感覚を身に付けることができる。